i-Stage

取扱説明書

はじめに

この度は、「i-Stage」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、i-Stage本体の機能、配線方法、操作方法、および使用上の注意について記載してあります。
i-Stageの機能を十分にご理解いただき、安全かつ効果的にご利用いただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みになり正しい使用法で使用してください。
取付け後も本取扱説明書および車種別配線図を大切に保管してください。
なお、i-Stageは競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に従って使用してください。
また、本製品は精密機械ですのでお取扱いには十分ご注意ください。
商品の外観、仕様、価格等は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

◇はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
◇目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
◇パーツリスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
◇安全にご使用いただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
◇機能と特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5

配線、取付け方法

◇各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
◇初期設定１.<アクセルの学習> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
◇動作確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13
◇初期設定２.<車速の学習> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15

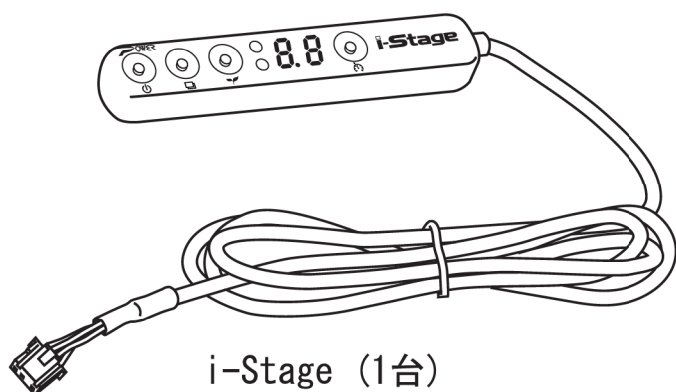
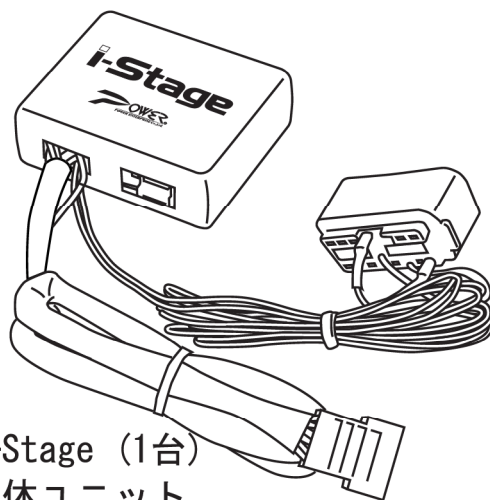
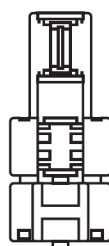
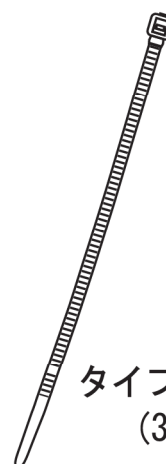
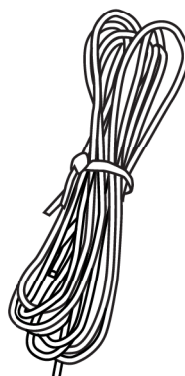
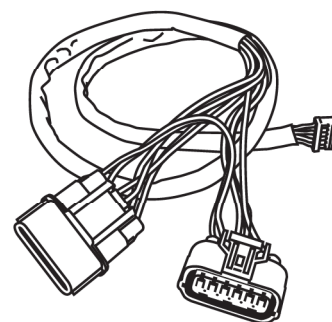
操作方法

◇動作一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16
・スロットルコントロールモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17
・W-ECOモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19
・レースモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P21
・ブリッピングモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P23
・オートクルーズモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25

トラブルシューティング・その他

◇エンジンチェックランプの消し方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P26
◇トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P27
◇保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

パーツリスト

お取り付け前に、不足部品がないかご確認下さい。

安全にご使用いただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人の財産や身体への損害を未然に防ぎ、本製品を安全かつ効果的にご使用いただくために守っていただきたい事項をマークと共に記載しています。
必ずこの取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分にご理解いただいた上でご使用ください。
本書中で使用されているマークと、その意味は下記のようになっています。

財産や身体に重大な被害が発生する恐れがあるもの。

車両や製品の破損および故障等を引き起こす恐れがあるもの。

本製品を使用するにあたって必ず知っておいていただきたいこと。

- 本体、ハーネスを取付ける際にハンドルやシフトレバー、ペダル、その他運転の妨げになる所への取付けはおやめください。事故の原因となり大変危険です。
- 適合車種以外の車両に取付けないでください。走行に支障が生じるような不具合が生じたり、車両を破損させる可能性があり、危険です。
- 運転者が運転中に本製品の操作を行うときは、脇見運転とならないように十分に注意してください。事故の原因となり大変危険です。
- 設定値を変更したりする時には、車を安全な場所に停止させて行なってください。走行中に設定変更を行なうと、車の走行特性に急激な変化が生じたときに事故等を引起こす可能性があり危険です。
- 本製品の操作は、機能を十分に理解している方のみが行なってください。それ以外の方が操作しますと、車の走行特性に急激な変化が生じ事故等を引起こす可能性があり危険です。特にお子様などが操作しないように十分ご注意ください。

・本製品の分解や改造は絶対にしないでください。本体の故障や破損の原因となります。お客様が分解や改造を行った場合、保証期間内であっても無償修理を行えなくなります。

・製品保証書（本取扱説明書裏表紙）は販売店および指定事項をご記入の上、大切に保管してください。また、修理の際には保証書を必ず添付してください。記入もれや販売店の記入がない時は有償となる場合がございます。

・製品に強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。取付け時等の落下にご注意ください。

・本体を湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、熱のこもる場所、ヒーターの吹き出し口の近く等に設置しないでください。本体の変色、変形、製品の誤作動、故障や破損の原因となります。

・本製品に故障または異常があった場合は、ただちに使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。

・本製品を使用しての事故や車両故障、破損、違法行為等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。

・本製品を取付けた車両を他の人に貸出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取付けられていることを知らせ、この取扱説明書と保証書も必ず渡してください。

機能と特徴

スロットルコントロール機能

アクセルレスポンスが鋭くなるパワーステージではノーマル特性を含めた8パターン、アクセルレスポンスが緩やかで燃費走行向きのエコステージではノーマル特性を含めた6パターンから、お好みのアクセルレスポンスで走行することができます。
パワーステージとエコステージそれぞれで1つずつパターンを記憶させることができ、一度のボタン操作で切替えができるので、通勤と遠出の仕様をワンタッチで切替えるといった使い方ができます。
一度設定したパターンはイグニッションキーをOFFにしても記憶しているので、乗るたびにi-Stageの電源をONにしたり再設定をする必要はありません。
前回走行したパターンですぐに走行できます。

W-エコモード機能

スロットルコントロールがエコステージの時に、さらに「アクセル操作に対してスロットルが遅れて動作する機能」を付加します。
この機能は急激なアクセル操作をキャンセルし、アクセルのON-OFFを繰り返すような場面での燃費走行をアシストします。
さらにスロットルの遅れタイミングは7段階に調整できるので、車両やドライバーを選ばず、スムーズなエコ走行を可能にします。
また、アクセルを40%以上開けたときにはこの機能は自動的にキャンセルされ、力強い加速が必要な場面でもストレスを感じさせません。
スロットルの遅れは開く(アクセルを踏む)方向にのみ働きますので、緊急ブレーキなどの減速には何の影響もなく、安全性を損ないません。
W-エコモードは、エンジンを切るなどしてi-Stageの電源がOFFになると、自動的にOFFになります。

レースモード機能

スロットルコントロールがパワーステージの時に、さらに「ブレーキからアクセルへと足を移すときのタイムラグをなくす機能」を付加します。
この機能をONにすることで、ブレーキを離してから0.5秒間アクセルが自動的に開き、アクセルに足を移す前にすでに車両を加速体勢にすることができます。
さらに、車両やコースに合わせた調整ができるように、アクセルの開度は15～60%の10段階(5%刻み)に設定できます。
レースモードがONになっていることは、表示部分が点滅することでお知らせする他、あらかじめ設定した車速(※)以下ではこの機能は動作しないので、安全に使用することができます。　　　※ 車種により前後しますが、約30km/hが下限値です。
レースモードは、エンジンを切るなどしてi-Stageの電源がOFFになると、自動的にOFFになります。

注意

レースモード機能を使用するためには、車速の学習を必ず行なってください。
学習方法はP15に記載しています。

オートクルーズ機能

任意の車速(※)を自動的に維持し、走行できます。(※車種によりますが、およそ60km/h以上)
アクセルを踏んでいなくても一定速度で巡航できるので、高速道路での長距離移動などで使用すると便利な機能です。
クルーズしたい速度に達したときにボタンを一度押すだけで、その速度を維持します。
もう一度ボタンを押すか、ブレーキを踏む(2秒間)ことで機能は解除されます。
また、オートクルーズ中でもアクセルを踏込むと加速ができ、その後アクセルを離せば、最初に設定した速度で再びオートクルーズを開始します。

ブレーキを制御する機能はありません。
エンジンブレーキのみでは車速を維持できないような急な下り坂ではドライバーのブレーキ操作による車速の調整が必要です。

交通量の多い道など、車間を十分に保てない状況ではこの機能を使用しないでください。解除が遅れると、追突事故を引起こす恐れがあります。

凍結や積雪時など、路面が滑りやすい状況ではこの機能を使用しないでください。タイヤがスリップする恐れがあります。

上り坂から下り坂にさしかかったときなど、走行条件の変化により速度を一定に保てないことがあります。車両のスピードメーターには常に注意し、必要に応じて車速を調整してください。

マニュアルトランスミッションの車両では、急な上り坂ではシフトダウンをしないと車速が維持できないことがあります。

ブリッピング機能

シフトダウン時にアクセルを自動的にあおる機能が働き、変速ショックを軽減します。
スポーツ走行では、ブレーキング時のヒールアンドトゥと同等の機能として使用することができます。
安全のため、あらかじめ設定した車速(※)以下で走行している時と加速中(アクセルを踏んでいる時)のシフトダウンでは、この機能は動作しません。
※ 車種により前後しますが、約30km/hが下限値です。
ブリッピングモードは、エンジンを切るなどしてi-Stageの電源がOFFになると、自動的にOFFになります。

この機能はCVTを除くオートマチックトランスミッション車のスポーツシフト(手動でシフトチェンジができる)搭載車でのみ作動させることができます。

レースモード機能を使用するためには、車速の学習を必ず行なってください。
学習方法はP15に記載しています。

アクセルキャンセラー機能

i-Stageの電源がＯＮになっているとき、アクセルを踏んだ状態のままブレーキを踏むと、スロットルを強制的にＯＦＦ（開度ゼロ％）にします。
アクセルペダルにカーペットや物などが引っかかるなどで、アクセルが戻らなくなった時でも、車両を確実に減速・停止させることができます。
逆に、ブレーキを踏んだ状態のままアクセルを踏むと、スロットルは指示通りに動きますので、ヒール＆トゥなども通常通りにできます。
アクセルキャンセラーは、i-Stageを取付けるだけで機能します。（ブレーキ信号線を必ず配線してください！）
なお、レースモードをONにしているときはこの機能は働きません。
スポーツ走行などで左足ブレーキを使用する場面では、レースモードをONにしておいてください。

バックスピードアシスト機能

i-Stageの電源がＯＮになっているとき、ギアをリバース（後退）に入れると、自動的にエコステージになります。
これにより、バック走行でのアクセルレスポンスを穏やかにできます。
バックアシストは、i-Stageを取付けるだけで機能します。（リバース信号線を必ず配線してください！）
また、ギアをリバースに入れると「 A. 」を表示し、機能が作動していることを知らせます。

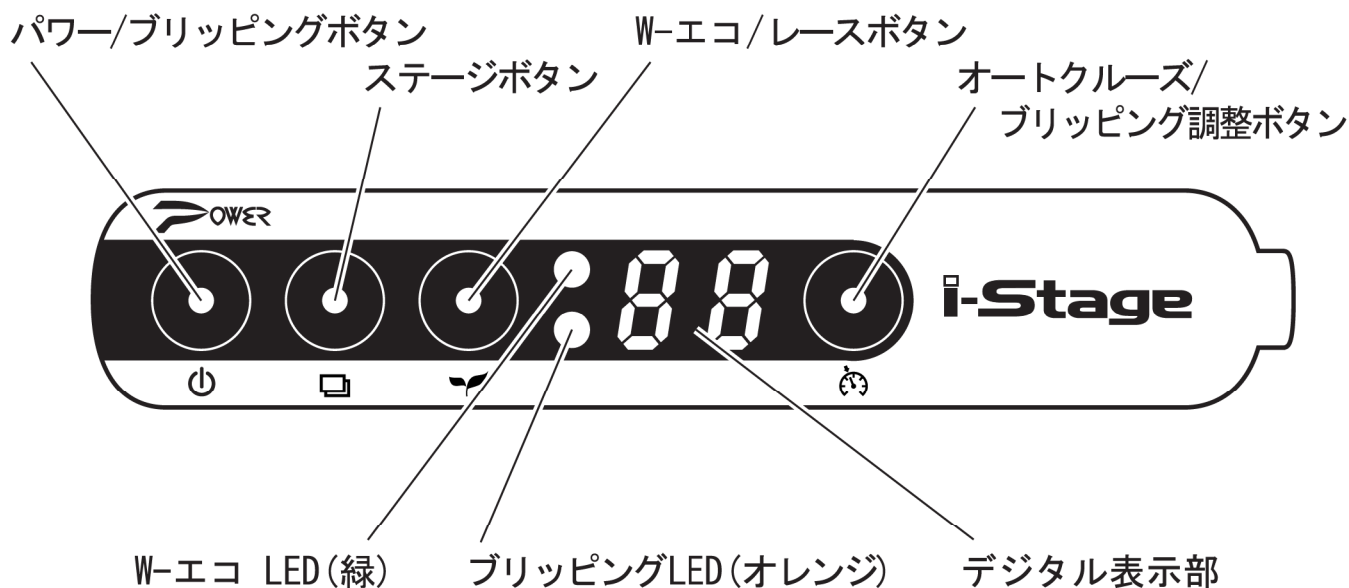
アクセル開度の表示機能

アクセルから足を離している状態を0%、床まで踏込んでいる状態を100%として、i-Stageが車両のコンピュータに出力しているアクセル開度を表示します。
表示開度は15～100%で5%刻みに表示します。 （100%は「ーー」と表示されます。）
アクセル開度が15%以下の時にはスロットルコントロールのステージとパターンを表示します。

ノーマル復帰機能

i-Stageの電源をOFFにすることで、すぐにノーマル状態に戻せます。

配線、取付け方法

各部名称

取付け時の注意事項

本製品の取付けには、必ず専用の車種別ハーネスを使用してください。

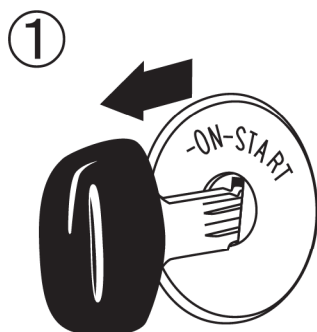
エンジンコンピュータへの配線は、専門店にて行ってください。誤った配線を行うと車両火災等の重大なトラブルの原因となります。

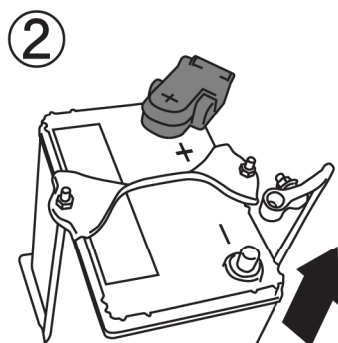
エンジンルーム等の、水の影響を受けやすい場所への配線を行う場合には、接続部分に絶縁処理、防水処理を必ず行ってください。

配線作業を行う際には、必ずキーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外してください。
配線のショートによるi-Stageの破損、車両の破損や火災の恐れがあり、大変危険です。

本体、ハーネスを取付ける際にハンドルやシフトレバー、ペダル、その他運転の妨げになる所への取付けはおやめください。事故の原因となり大変危険です。

コネクタを抜き差しする場合は、コネクタ本体を掴んで作業して下さい。ハーネスを引張るなどして無理な力を加えると断線する恐れがあります。

配線概略図

①

イグニッションOFF
キーを抜く

②

バッテリーの
マイナス端子を外す

作業手順

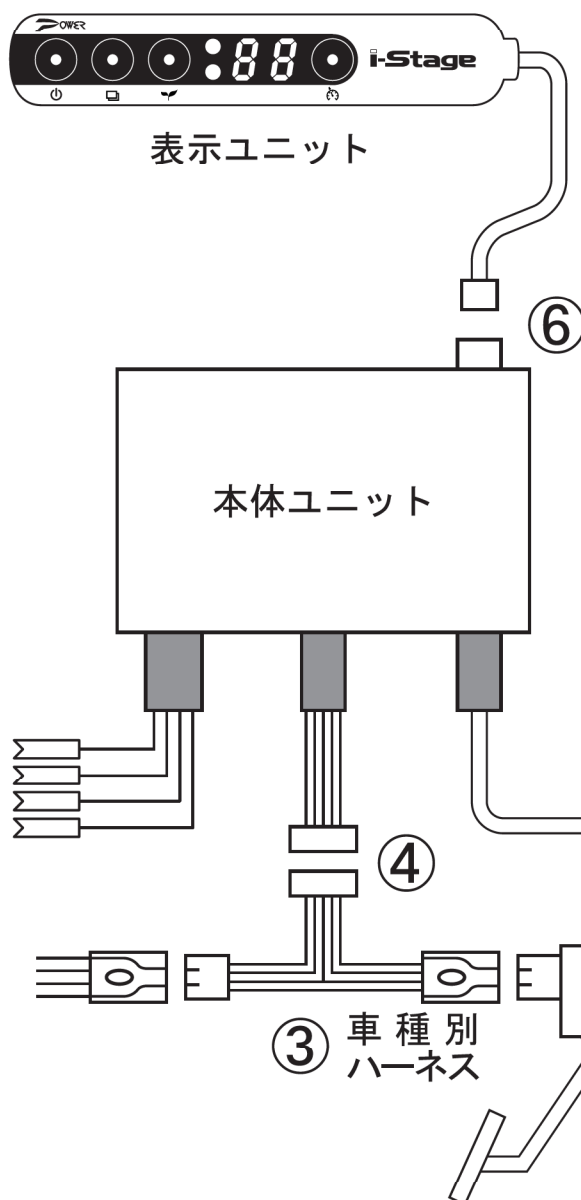
① 車両を平らな場所に止め、サイドブレーキをしっかりかけてイグニッションキーを抜いてください。

② バッテリーのマイナス端子を外してください。

③ 純正のアクセルペダルのコネクタを取外し、i-Stage専用の車種別ハーネス(別売)を接続してください。

④ 車種別ハーネスをi-Stage本体ユニットと接続してください。

⑤ i-Stage本体ユニットの電源コネクタを、車両のOBDII診断コネクタに接続してください。

⑥ i-Stage表示ユニットのハーネスを本体ユニットに接続してください。

⑦ 必要な機能に応じて、付属のケーブルとエレクトロタップを使用して以下のように配線を行ってください。車速信号をシフトダウン信号の取出し位置は、別紙の車種別配線図に記載しています。

■ 配線手順① ■

車速信号線

オートクルーズ機能、ブリッピング機能、レース機能を使用するために、必ず配線してください。

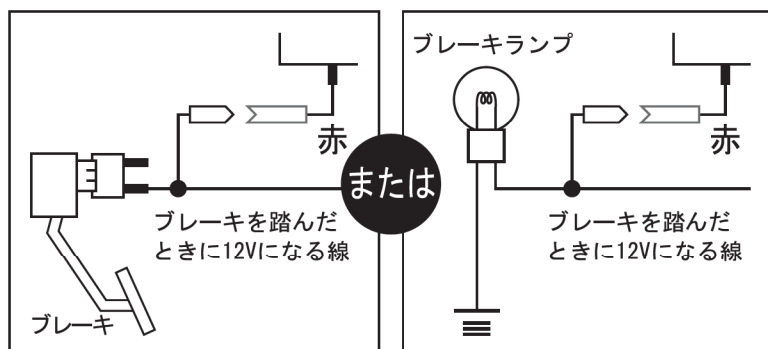
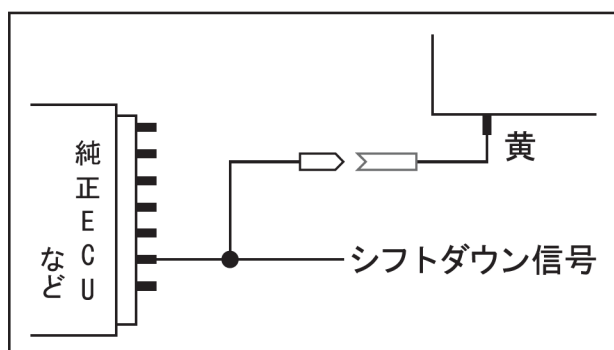
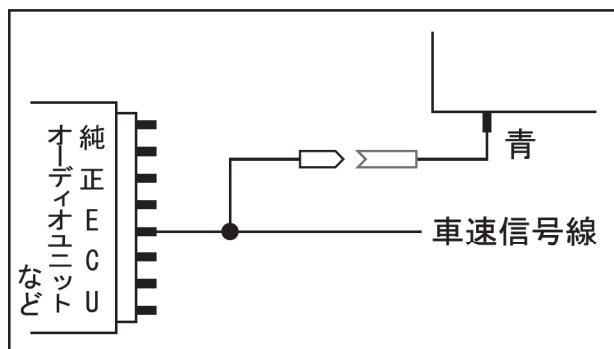
■ 配線手順② ■

シフトダウン信号線

ブリッピング機能を使用するために、必ず配線してください。
適合表のブリッピングの欄に○印がない車種は、接続しません。

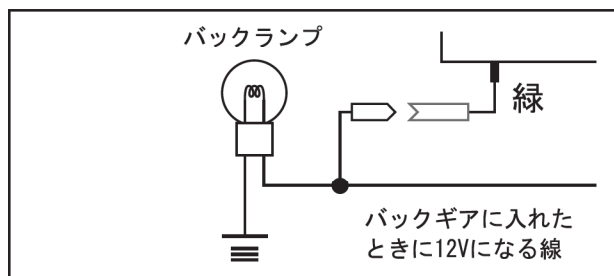
■ 配線手順③ ■

ブレーキ信号線

オートクルーズ機能、レース機能、アクセルキャンセラー機能を使用するために、必ず配線してください。

オートクルーズでは安全装置としてブレーキ信号を使用しますので、必ず配線してください。

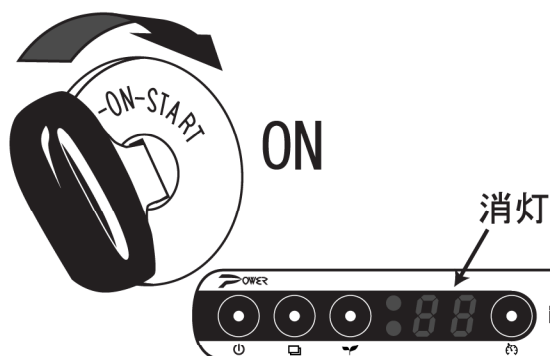
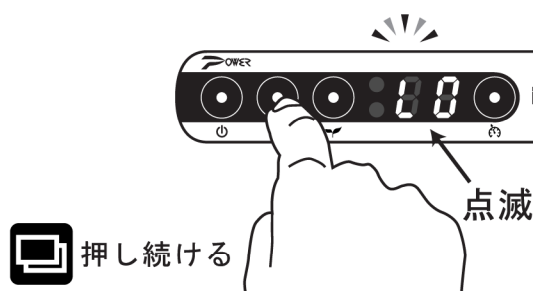
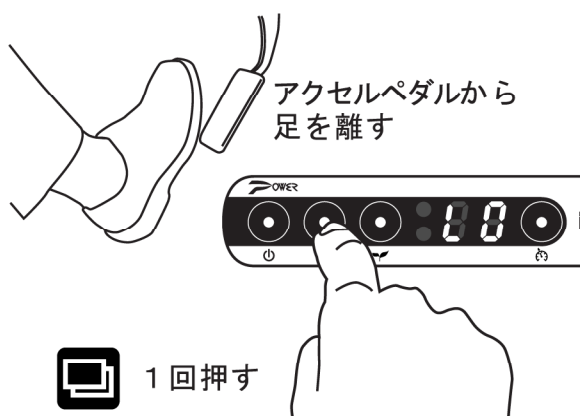
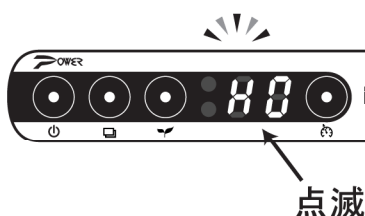
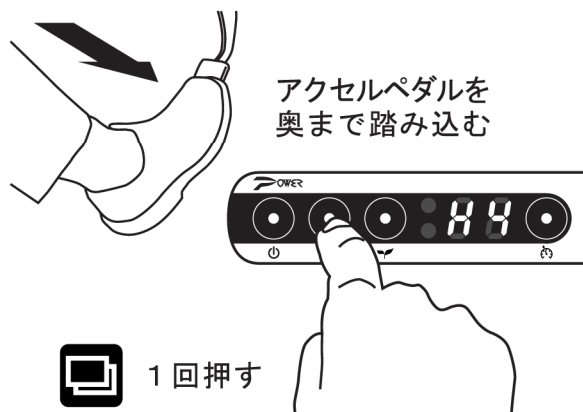
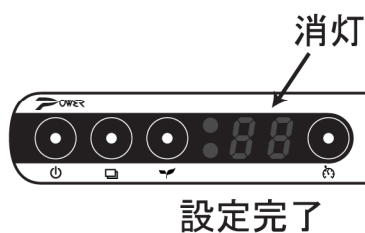
■ 配線手順④ ■

リバース信号線

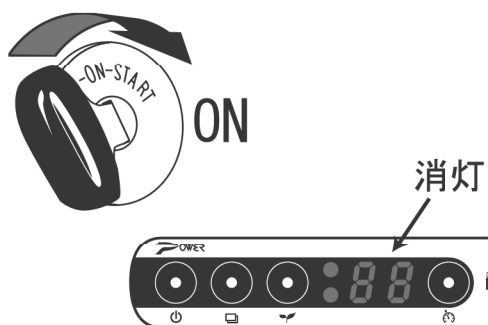
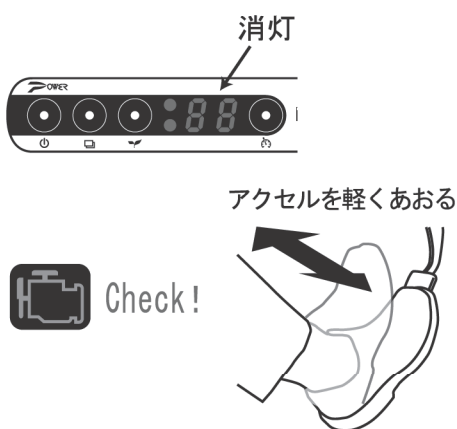
バックスピードアシスト機能を使用するために、必ず配線してください。

リバース信号線を接続しない場合は、後退時にもスロットルコントロール機能、W-エコモード、レースモードの効果が働きます。急発進などの危険を避けるためにも、必ずリバース信号を接続してください。

⑧ i-Stageの本体ユニットと表示ユニットを、両面テープで固定してください。

初期設定１．<アクセルの学習>

i-Stageを取付けたら、必ず初期設定を行なってください。
初期設定を行なわずに使用をすると、i-Stageが正常に動作しません。
また、車両のエンジンチェックランプが点灯したり、走行に支障が生じる恐れがあります。

① イグニッションキーをONにし（エンジンは始動させません。）、i-Stageの電源がOFFになっている（LEDや表示部が全て消灯している）ことを確認してください。
i-Stageの電源がONになっている場合には、パワーボタンを押し続けて電源をOFFにしてください。

② モードボタンを押し続けてください。デジタル表示部に「L※」の表示が点滅します。
（※には0などの数字が表示され、その値は車両によって異なります。）

③ アクセルから足を離した状態でモードボタンを1回押してください。

④「L※」表示が点滅から点灯になり、約1秒後に「H※」の点滅になります。
（※には0などの数字が表示され、その値は車両によって異なります。）

⑤ アクセルを床まで踏込むと「H※」の数値が変化します(左の例ではH4)ので、そのままモードボタンを1回押してください。

⑥「H※」表示が点滅から点灯になり、約1秒後に電源がOFFになります。

イラストの「LO」「H4」などの数値は、取付けた車種により取扱説明書と異なることがありますが、異常ではございません。

動作確認

① イグニッションキーをONにし(エンジンは始動させません。)、i-Stageの電源がOFFになっている(LEDや表示部が全て消灯している)ことを確認してください。
i-Stageの電源がONになっている場合には、パワーボタンを押し続けて電源をOFFにしてください。

② i-Stageの電源をOFFの状態にしたままエンジンを始動し、アクセルを軽くあおってください。
アクセルがいつも通り反応し、エンジンチェックランプの点灯などの異常がないことを確認してください。

エンジンチェックランプが点灯した時は…

エンジンをかけたままアクセルを踏み、エンジン回転数が変化するかを確認してください。
変化がある場合は、i-Stageを取付ける際に取外した部品の取付け忘れがないかを確認してください。
変化がない場合は、車種別ハーネスの取付けに誤りがないかを確認してください。
確認後、エンジンチェックランプを消し(P26)、もう一度動作確認①からやり直してください。

③ i-Stageの電源をONにし、アクセルを軽くあおってください。
アクセルがいつも通り反応し、エンジンチェックランプの点灯などの異常がないことを確認してください。

エンジンチェックランプが点灯した時は…

初期設定が正常に完了していない可能性があります。
エンジンチェックランプを消し(P26)、もう一度初期設定を行ってください。

④ 実走行をしてください。
車の挙動に異常がないことや、エンジンチェックランプの点灯がないことを確認してください。

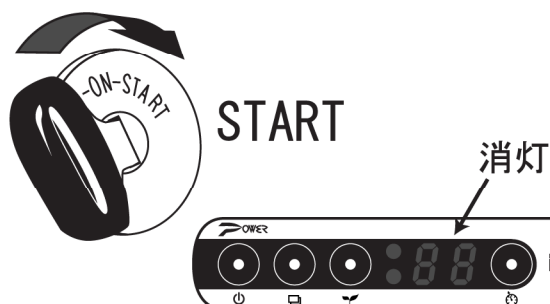
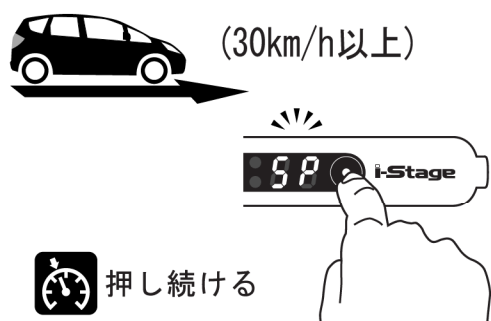
エンジンチェックランプが点灯した時は…

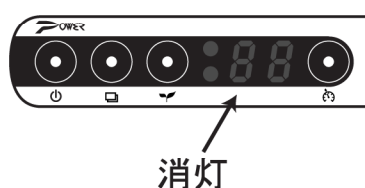
初期設定が正常に完了していない可能性があります。
エンジンチェックランプを消し(P26)、もう一度初期設定を行ってください。

動作確認中にエンジンチェックランプが点灯するなどし、上記に従っても解決できない時は、i-Stageの使用をすぐに中断し、販売店にご相談ください。

初期設定２．〈車速の学習〉

車速の学習は、走行中の操作を必要とします。
運転手が走行中に操作を行うことは脇見運転となり危険ですので、
助手席の人に手伝ってもらうなどして設定してください。

ここでは、ブリッピングモードとレースモードを設定した速度以下で動作しないように、i-Stageに学習をさせます。
安全のため、動作確認後に必ず車速の学習を行なってください。
また、学習を行なわないと、ブリッピングモードとレースモードは機能しません。

① エンジンを始動し、i-Stageの電源がＯＦＦになっている（ＬＥＤや表示部が全て消灯している）状態にしてください。
i-Stageの電源がONになっている場合には、パワーボタンを押し続けて電源をOFFにしてください。

② 車両を走行させ、時速を任意の速度(※)に保った状態で、オートクルーズボタンを長押し(約１秒間)してください。
表示部に｢SP｣と表示されます。

※ 車種により上下しますが、30km/h以下には設定できません。

③ 表示部に｢SP｣と表示された後、元の電源OFFの状態に戻れば、設定完了です。

※｢SP｣と表示した後に｢Er｣と表示されて電源OFFになった場合は、車速の学習が正しく完了していません。
もう一度、②からやり直してください。

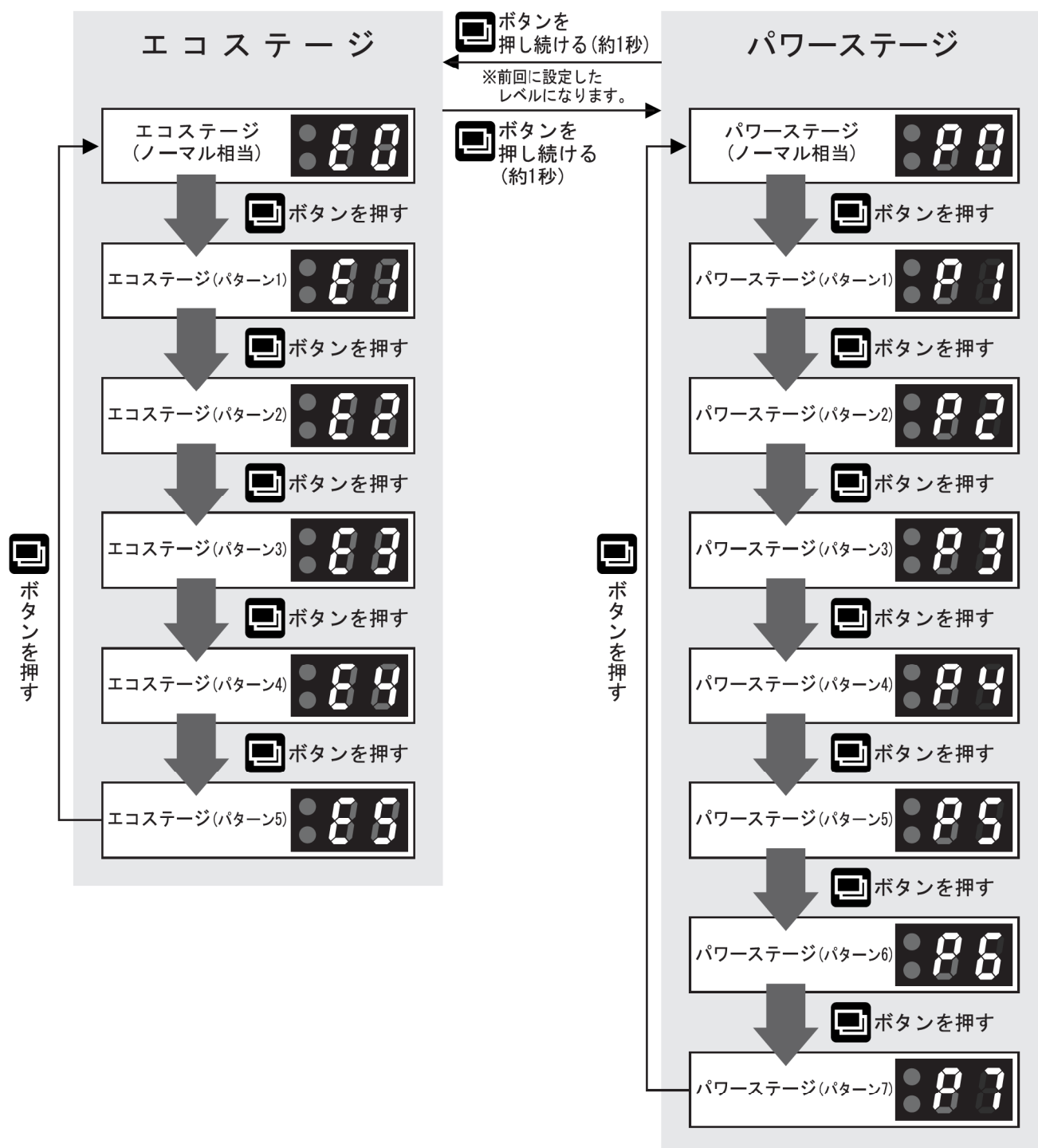
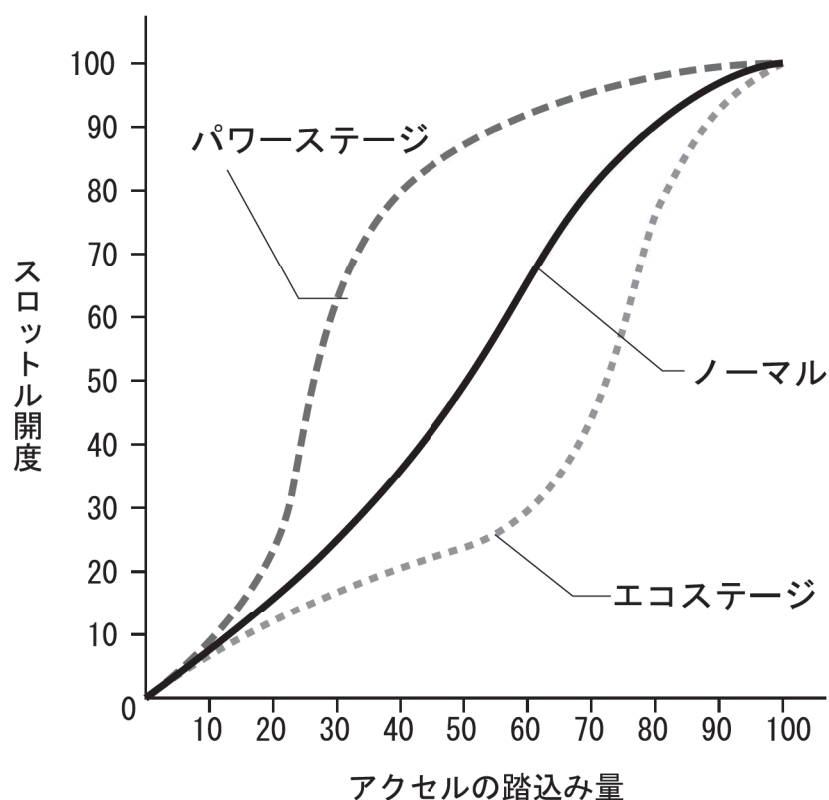
学習が正しく完了しなかった原因として、
・車速信号線の接続不良
・車速が低すぎる
が考えられます。

動作一覧

車速学習モード
車速の学習(P15)をご覧下さい
ボタンを押し続ける
ボタンを押し続ける
アクセル学習モード
初期設定(P11)をご覧下さい
電源OFF
ノーマル状態
設定完了
設定完了
ボタンを押す
ボタンを押し続ける
ボタンを押し続ける(約1秒)
ボタンを押し続ける(約1秒)
エコステージ
E0～E5
(E0はノーマル同等)
ボタンで切替え
ボタンを押す
ボタンを押す
Wエコモード
E0～E5
(E0はノーマル同等)
ボタンで切替え
ボタンを押し続ける
遅れ時間の設定モード
1 ～ 7
ボタンで切替え
3秒間 放置する
パワーステージ
P0～P7
(P0はノーマル同等)
ボタンで切替え
ボタンを押す
ボタンを押す
レースモード
P0～P7
(P0はノーマル同等)
ボタンで切替え
ボタンを押し続ける
開度の設定モード
15%～60%
ボタンで切替え
3秒間 放置する
ブリッピングレベルの設定モード
1L ～ 4H
ボタンで切替え
3秒間 放置する
ブリッピングモード
ブリッピングモードがONの時も、スロットルコントロールの設定が有効になっています。
ボタンを押し続ける
ボタンを押す
ボタンを押す
ボタンを押す
ボタンを押す
または、ブレーキを踏む
オートクルーズモード
パワー/ブリッピングボタン
モードボタン
W-エコ/レースボタン
オートクルーズボタン

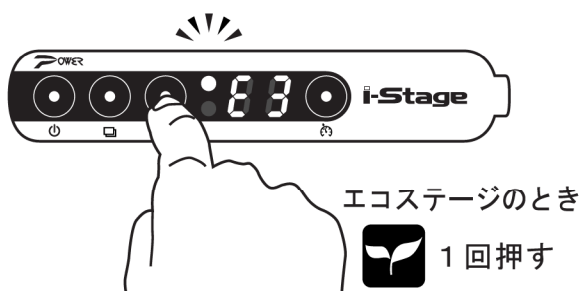
スロットルコントロールモード

スロットルコントロールのステージとパターンの切替え方法
パワーステージではP0がノーマルと同じアクセル特性であり、数字が大きくなるほどアクセルレスポンスが鋭くなります。P0からP7まで、8パターンから設定できます。
エコステージではE0がノーマルと同じアクセル特性であり、数字が大きくなるほどアクセルレスポンスが緩やかになります。E0からE5まで、6パターンから設定できます。

ステージ / パターン切替え概略図

スロットルコントロールのイメージ図

アクセル開度の表示機能

アクセルから足を離している状態を0%、床まで踏込んでいる状態を100%として、i-Stageが車両のコンピュータに出力しているアクセル開度を表示します。
表示開度は15～100%で5%刻みに表示します。（100%は「ーー」と表示されます。）
アクセル開度が15%以下の時にはスロットルコントロールのステージとパターンを表示します。

W-エコモード操作方法

緑色のLEDが点灯している状態が、W-エコモードです。

W-エコモードをONにするには、エコステージ(E0～E5)の時にW-エコ/レースボタンを押してください。

解除方法

W-エコモードを解除するには、もう一度W-エコ/レースボタンを押してください。また、イグニッションをOFFにする、またはi-Stageの電源をOFFにすると、再びONにした時にはW-エコモードは自動的に解除されます。

スロットルの遅れ時間は、以下の手順で調整することができます。

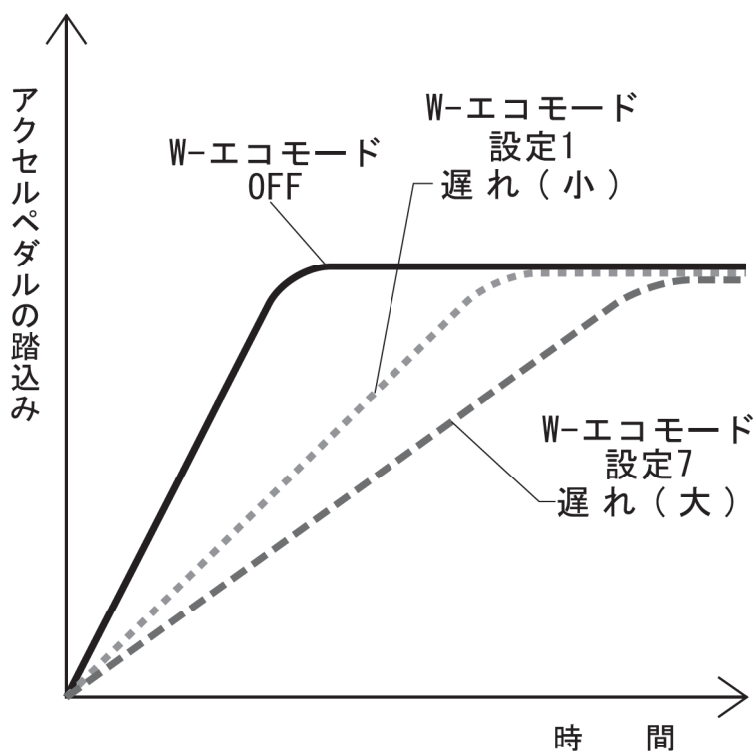
スロットルの遅れ時間を調整するには

① W-エコモードがONの状態(緑のLEDが点灯)で、W-エコ/レースボタンを押し続けてください。
デジタル表示部に、1～7の数値が表示されます。

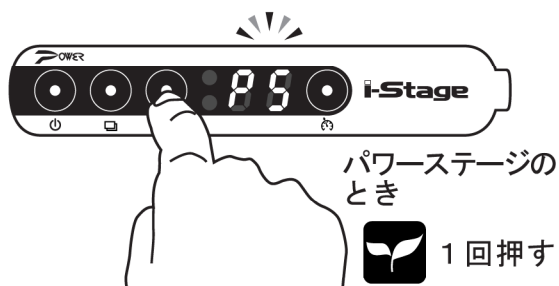
② W-エコ/レースボタンを押すたびに、数値が1ずつ上昇します。
最大は7で、7の次は1に戻ります。

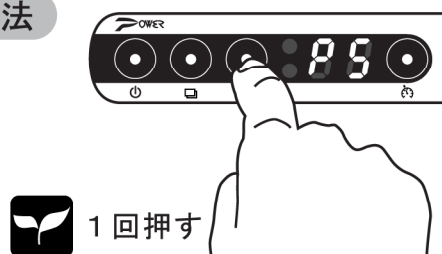
③ 約3秒間、何も操作をしないままにしてください。
設定モードから戻ります。

最初から大きな値を設定すると、遅れが大きすぎ、車両がなかなか加速しない・アクセルを多めに踏込んだ時に急に加速するなどの危険が生じる恐れがあります。
最初は1～3の設定値で走行し、物足りない場合は数値を1ずつ上昇させて走行してみてください。

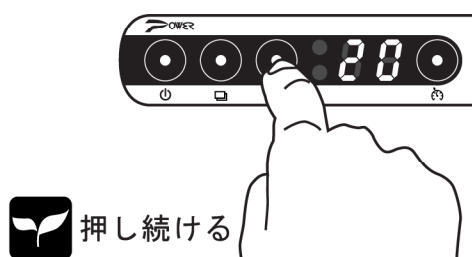
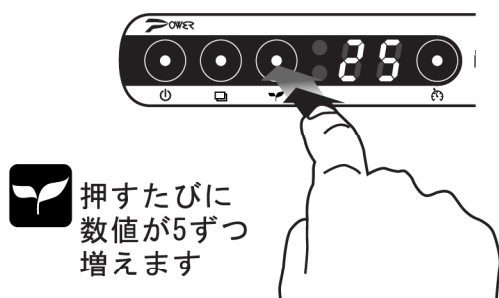
設定した遅れ時間は、i-Stageの電源をOFFにしたりイグニッションをOFFにしても記憶されています。

W－エコの作動イメージ

レースモードの操作方法

表示部が点滅している状態が、レースモードです。
ブレーキを踏んでいない時は現在のアクセル開度(15〜100%)またはスロットルコントロールのステージとパターンを点滅表示し、ブレーキを踏んでいる時はレースモードで設定したアクセル開度を点滅表示します。

レースモードをONにするには、パワーステージ(P0〜P7)の時にW-エコ/レースボタンを押してください。

解除方法

レースモードを解除するには、もう一度W-エコ/レースボタンを押してください。また、イグニッションOFFにする、またはi-Stageの電源をOFFにすると、再びONにした時にはレースモードは自動的に解除されます。

レースモードの開度は、以下の手順で調整することができます。

レースモードのアクセル開度を調整するには

① レースモードがONの状態(デジタル表示が点滅)で、W-エコ/レースボタンを押し続けてください。デジタル表示部に、15〜60の数値(アクセル開度)が点灯表示されます。

② W-エコ/レースボタンを押すたびに、数値が5ずつ上昇します。
最大は60で、60の次は15に戻ります。

デジタル表示部が点滅

③ 約3秒間、何も操作をしないままにしてください。
設定モードから戻ります。

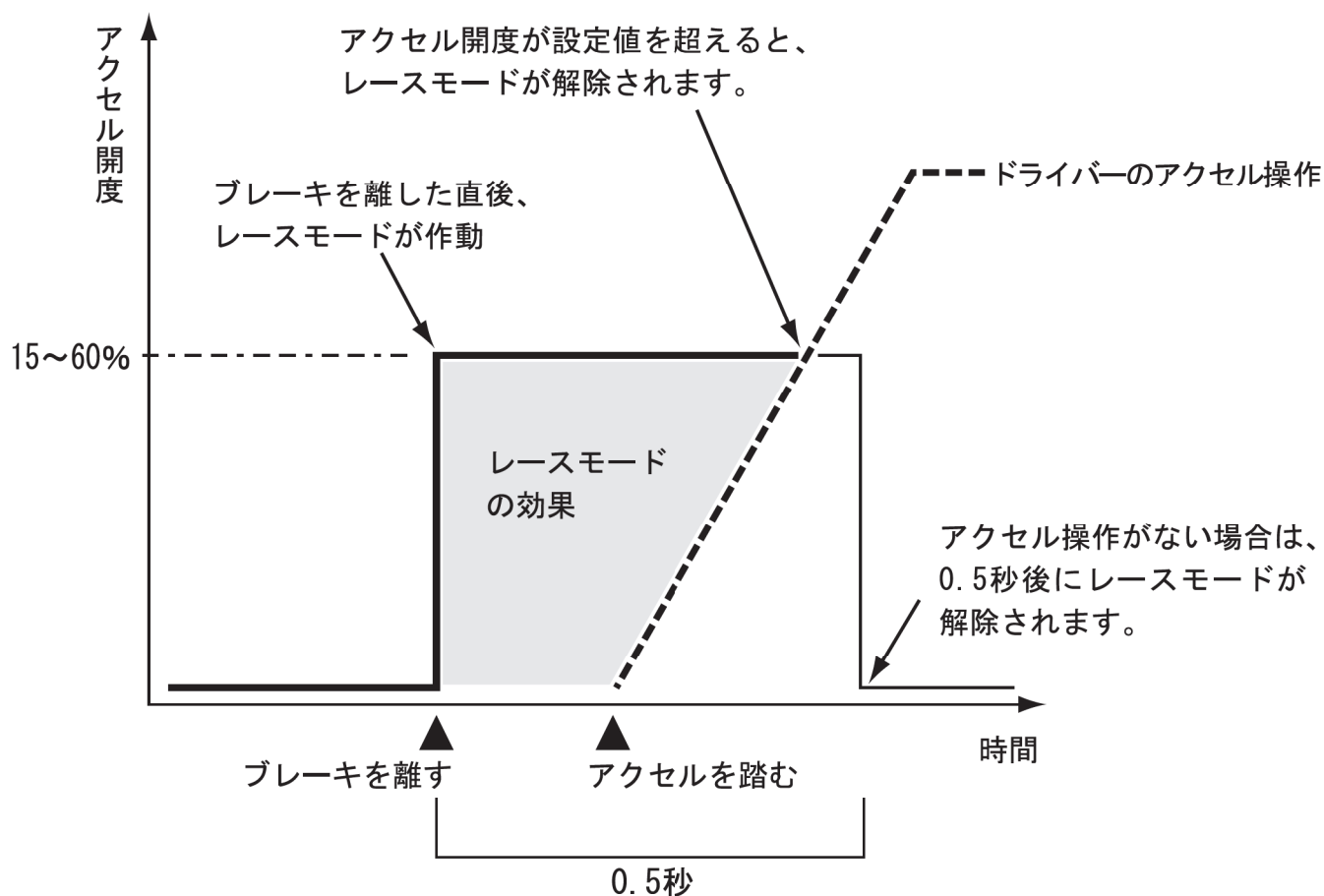
注意

最初から大きな値を設定すると、スロットルが開きすぎ、車両が急加速するなどの危険が生じる恐れがあります。
最初は15～20の設定値で走行し、物足りない場合は数値を5ずつ上昇させて走行してみてください。

重要

安全のため、この機能は設定した車速以下では作動しないようになっています。
車速の設定方法については、P15をご覧ください。

設定した開度は、i-Stageの電源をOFFにしても記憶されていますが、イグニッションをオフにすると初期値(15%)に戻ります。

アクセル開度
アクセル開度が設定値を超えると、レースモードが解除されます。
ドライバーのアクセル操作
ブレーキを離した直後、レースモードが作動
15～60%
レースモードの効果
アクセル操作がない場合は、0.5秒後にレースモードが解除されます。
ブレーキを離す
アクセルを踏む
時間
0.5秒

レースモードの作動イメージ

ブリッピングモードの操作方法

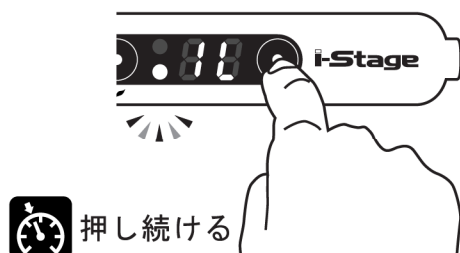
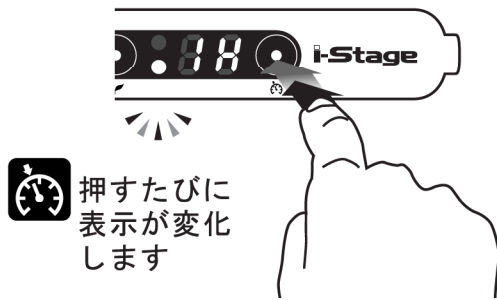
オレンジ色のLEDが点灯している状態が、ブリッピングモードです。

ブリッピング機能をONにするには、i-Stageの電源がONになっているときに、パワーボタンを押してください。

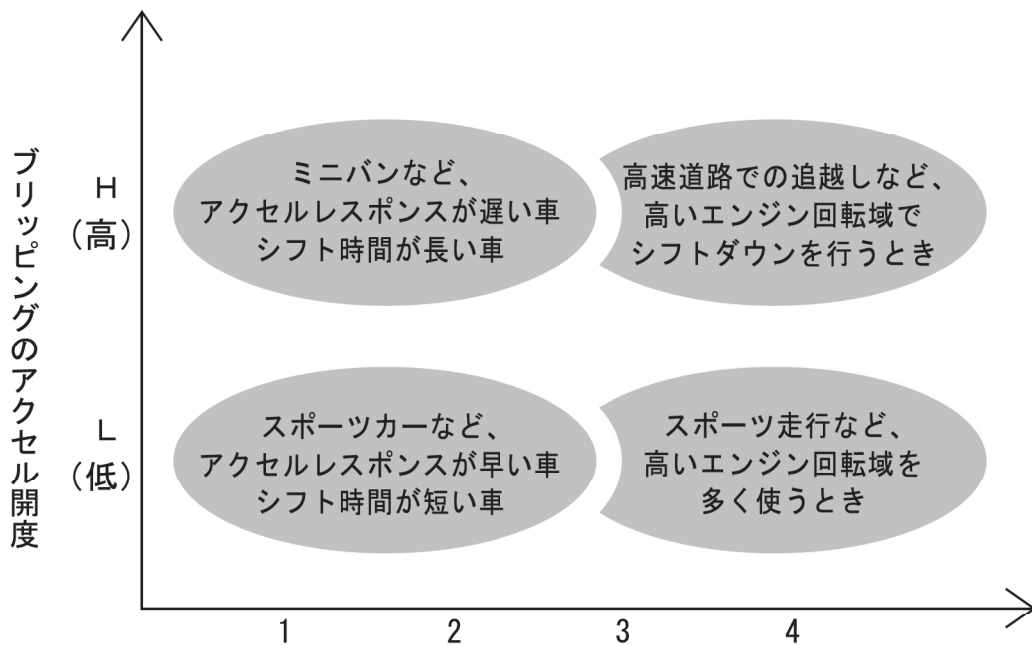
ブリッピング機能をOFFにするには、もう一度パワーボタンを押してください。また、イグニッションOFFにする、またはi-Stageの電源をOFFにすると、再びONにした時にはブリッピングモードは自動的に解除されます。

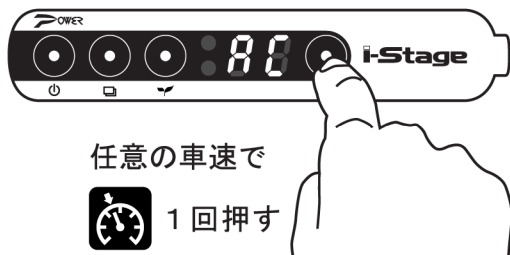
ブリッピングのレベル(タイミング・開度)は、以下の手順で調整することができます。

安全のため、設定した車速以下の時(※)と加速中(アクセルを踏んでいる時)のシフトダウンでは、この機能は動作しません。
※ 車速の設定方法については、P15をご覧ください。

ブリッピングのレベルを調整するには

① ブリッピングモードがONの状態(橙のLEDが点灯)で、オートクルーズボタンを押し続けてください。
橙のLEDが点滅し、デジタル表示部には1L～4Hの表示がされます。

② 橙のLEDが点滅しているときには、
オートクルーズボタンを押すたびに、
表示が1L→1H→2L→2H→3L→3H→
4L→4Hと変化します。

③ 約3秒間、何も操作をしないままにしてください。
設定モードから戻ります。

（早い）　ブリッピングタイミング　（遅い）

ブリッピングの設定目安イメージ

オートクルーズの操作方法

オートクルーズで走行するには、クルーズしたい車速に達したときに、オートクルーズボタンを押してください。
デジタル表示部に「AC」と表示され、オートクルーズを開始します

解除方法

オートクルーズを解除するには、ブレーキペダルを2秒間踏むか、オートクルーズボタンを押してください。

危険

ブレーキを制御する機能はありません。
エンジンブレーキのみでは車速を維持できないような急な下り坂ではドライバーのブレーキ操作による車速の調整が必要です。

交通量の多い道など、車間を十分に保てない状況ではこの機能を使用しないでください。解除が遅れると、追突事故を引起こす恐れがあります。

凍結や積雪時など、路面が滑りやすい状況ではこの機能を使用しないでください。タイヤがスリップする恐れがあります。

注意

上り坂から下り坂にさしかかったときなど、走行条件の変化により速度を一定に保てないことがあります。車両のスピードメーターには常に注意し、必要に応じて車速を調整してください。

重要

加速中などのアクセルを踏んでいる状態でオートクルーズを開始しようとすると、誤差が大きくなります。
設定したい車速よりも少し高い速度まで加速し、アクセルを踏んでいない状態でオートクルーズボタンを押してください。

マニュアルトランスミッションの車両では、急な上り坂ではシフトダウンをしないと車速が維持できないことがあります。

速度が低すぎる時には、表示部に「OF」と表示され、オートクルーズがONになりません。

エンジンチェックランプの消し方

① エンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてください。

② そのまま５分ほど放置し、チェックランプが点灯したと思われる原因を取り除いてください。

③ エンジンを始動して1分ほど待ち、エンジンチェックランプが点灯しないことを確認してください。

エンジンチェックランプが点灯した原因については、次ページからのトラブルシューティングを参考にしてください。

④ エンジンチェックランプが消えない場合は、イグニッションをOFFにし、バッテリーのマイナス端子を取外して５分ほど放置してください。

バッテリーのマイナス端子を外すと、時計やオーディオの設定、その他の電子機器の設定がリセットされます。
重要な設定はメモなどに控えておくなどしてください。
なお、i-Stageの初期設定<アクセル、車速>はバッテリーのマイナス端子を外してもリセットされません。

⑤ エンジンを始動して1分ほど待ち、エンジンチェックランプが点灯しないことを確認してください。

⑥ この方法でもエンジンチェックランプが消えない場合は、カーディーラー、修理工場などにご相談ください。

トラブルシューティング

i-Stageを使用中に何らかのトラブルが生じた場合には、i-Stageの故障と思う前に以下のトラブルシューティングに従って対策を行なってみてください。トラブルシューティングに従っても問題が解決されない場合や、以下に示されている内容以外の特異なトラブルが発生した場合には、すぐに使用を中止して販売店にご相談ください。

i-Stageの表示部に何も表示されない。

i-StageのOBD II診断コネクタと車種別ハーネスが正しく接続されていることを確認してください。両方が接続されていないと、i-Stageには電源が入りません。

表示ユニットが本体ユニットに正しく接続されていることを確認してください。

エンジンチェックランプが点灯する。

i-Stageの取付け後は、本取扱説明書に従って初期設定(P11)を必ず行なってください。初期設定を行なわずにi-Stageの電源をONにすると、エンジンチェックランプが点灯します。

車種別ハーネスの品番が、装着車両に合ったものであるかを確認してください。

オートクルーズモードが勝手に解除される。

車速が低すぎる時はオートクルーズをONにできません。すぐに「OF」と表示されて、OFFに戻ります。

車速信号線、ブレーキ信号線の接続を見直してください。特に車速信号線の接続は、接触不良などがあると、ノイズ等の影響で正常な信号が伝達されませんので注意してください。

？ オートクルーズをONにしたが、希望の速度で巡航しない。または、誤差が大きい。

！ 急加速中(減速中)はメーターと実速度の誤差も大きくなります。オートクルーズは巡航中にONにすることで、より高い精度でクルーズすることができます。

！ 巡航中でも、アクセルの踏み込み量が大きいとき(上り坂や高速度のとき)にオートクルーズをONにすると、設定車速の誤差が大きくなります。
設定したい車速よりも少し高い速度まで一度加速してアクセルを緩め、設定車速まで下がってきたときにオートクルーズボタンを押すと、より高い精度でクルーズすることができます。

！ i-Stageには、ブレーキを制御する機能はありません。急な下り坂では、エンジンブレーキだけでは減速できず、設定車速を維持できないことがあります。そのような場合には、ドライバーがブレーキを操作し、車速を調整してください。

！ i-Stageは安全のため、急なアクセル操作をしないようになっています。平坦な道から急に坂道にかかったときなど、一時的に設定車速からずれることがあります。

？ ブリッピングモードを作動させると、車が前に進むなどのギクシャクした動きが生じる。

！ ブリッピングモードは、CVTを除くAT車で使用できる機能です。
例え車両にシフトダウン信号があったとしても、適合車以外では配線を行っても正常に動作しません。

！ ブリッピングレベルが車両や走行環境に合っていないと、ギクシャクした動作になることがあります。
また車種によっては、走行状況によってレベルを使い分けていただく必要があります。
P23～24の設定方法をご覧になり、ブリッピングレベルを調節してください。

製品保証書

品　名	i-Stage	シリアルNo.	
お買上げ年月日	年　　月　　日		
保証期間	1　年　間		

お客様　〒

ご住所 ______________________

電　話 ______________________

お名前 ______________________ 様

販売店

店　名

住　所

電　話

本保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店または、当社に修理をお申し付け下さい。

この保証書は本書に明示した期間、下記条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社までお問い合わせ下さい。

無料修理規定

1. 取り扱い説明書などの注意書などに従った正常な使用状態で故障した場合には、当社にて無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げ販売店または、当社に製品と本保証書を一緒にしてお申し付け下さい。
3. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
   ①本保証書のご提示がない場合。
   ②本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、および本書の字句が書き替えられた場合。
   ③ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損。
   ④お買上げ後の輸送、落下などによる故障および破損。
   ⑤地震、落雷、水害その他の天変地異、事故や異常電圧による故障および破損。
4. 本保証書は、再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

パワーエンタープライズ株式会社

〒417-0047　静岡県富士市青島町43

TEL.0545-52-0123　FAX.0545-52-0103